

# つるぎ山アルペンラリー2017

## 2017.05.27 徳島県 SS30km

# 初戦Vは長江 EvoX



FG ラリー&西日本グラベルラリーシリーズ第1戦は徳島県美馬市中尾山高原をスタート会場に5月27日開催された。

過疎化が深刻なFGラリーだが西日本グラベルラリーシリーズのおかげもあり他地区からの参加者も多く35台のエントリー。

今年は3戦しかないFGラリーは1戦の結果がシリーズを大きく左右するため、どの参加者も真剣な面持ちながらスタート前の舌戦もめかりない。

FG-4クラス。昨年覇者酔うぞ~Evo8は、タービンが街乗りで壊れてしまい、たぶん(Evo)5のじゃなろうか?予備タービンに交換してきたものの、本調子ではないらしい。同2位のホリエは昨年の大クラッシュの修理代に泣きエントリーできず、サービスパークで哀愁漂う笑顔でスタートを見送る。同3位酒蔵爺は待ちに待った開幕戦と言わんばかりの笑顔。EvoXに乗換えた修平は所属クラブの主催だがチャンピオンを目指しエントリー。コドラの監督は主催のため全日本コドラ漆戸選手を起用し緊張した顔つきの修平。デミオからEvo9に乗換えた寺川先生は、舗装でしか練習し

ていないと保険をかける。毎年何かをやってくれるマクリンは親友の結婚式のため不参加。ギャランの人はいつものナビが怪我のためきんたねーさんをコドラにハッスル!? やっと出れるとルンルの泥屋Evo3は昨年からのコンビでタナボタ入賞を目指す。

スタートでいきなり注目を集めたのは、スロットルが開いたままになりサービスに戻った酔うぞ~。酔うテックの誤作動が原因だったらしいが、酔うテックが二日酔いか?

SS1を制したのは修平。2番手寺川に2秒、3番手酔うぞ~に3秒の差をつける。過去年の主催で何度も走りなれた道だけに有利だったのか?

続くSS2も修平が寺川にコンマ5秒、酔うぞ~に5秒の大差をつける。SS3は寺川が酔うぞ~に2秒、修平に6秒差でトップに躍り出る。SS4は修平と酔うぞ~がコンマ5秒差の接戦の中、バーストに泣き脱落する寺川。しかし7秒差とまだ何かあれば巻き返せそうな差にサービスでイメトレに励む。心の中では(ダート初走行と)保険をかけておいて良かったと思っていたとかいないとか(笑)

SS5では寺川がベストでここまでのトータルではTOPと5秒差。2番手酔うぞ~とコンマ6秒差。せめて2位に!と猛アタックの結果・・・またもバースト(涙)。6本中4本でベストをたたき出した修平が堂々の優勝。全日本コドラは走らせ方がうまいのか、助手席が軽いほうがいいのか、EvoXがいいのか、女性にケガをさせるわけにはいかない(しかもご主人も一緒に来てる)とチャレンジしなかったのか、などなど、さまざまな憶測が生まれつつ、2位酔うぞ~に10秒の大差を付けた。「タービンも本調子じゃなかったけどな、タイヤがな、雨用しかなくてな、ぐにゃぐにゃやったんよな。」と言い訳する酔うぞ~。そのまま財政危機でいてくれたほうが、皆が励みになっていいかも?

3位には2度のバーストをしつつEvo9でダート初走行の寺川、4位には終始ニコニコでラリーを存分に楽しんだ酒蔵爺、5位には中部から遠征の宮本、6位には狙い通りぼた餅が落ちてきた泥屋が入った。

偶然なのか上位3台はコドラが女性。助手席は軽い方がいいのか、かわいらしく?ムチ打たれるのがいいのか、女性コドラだと適度に興奮できるのか?などなど、表彰式後の宴会では諸説が流れていた(笑)

写真:(敬称略)

1. 2位 渡部洋三 / 井関美貴
2. 3位 寺川和紘 / 石川美代子
3. 4位 手塚清明 / 斎藤哲史
4. 5位 宮本雅彦 / 鈴木和人
5. 6位 山口英明 / 土居喜嗣

表彰式左から、4位手塚清明 / 斎藤哲史、2位 渡部洋三 / 井関美貴、1位 長江修平 / 漆戸あゆみ、3位 寺川和紘 / 石川美代子、4位 手塚清明 / 斎藤哲史、5位 宮本雅彦 / 鈴木和人、6位 山口英明 / 土居喜嗣





1位古川 / 和田



2位小西 / 藤島



3位高田 / 園田



4位関根 / 走出



5位川本 / 大谷



6位山口 / 山田

FG-3 クラスは昨年覇者の辰巳ブーン、全日本 JN-1 クラス赤スイフトで1位、2位と絶好調の古川インテグラ、マシン一新の貴利ブーン、やっと復活みかんシビック、舗装スペシャリストカネビーはコドラのトレノで、関東からは高田ミラージュ、唯一の女性ドライバーミズホ、20代ドライバー川本がニューマシーン？、と話題盛りだくさんの13台がエントリー。

注目のSS1。TOP タイムは古川。コンマ8秒差で高田、さらに4秒差で川本と続く。辰巳は川本に遅れること1.7秒差の4番手。様子を見すぎた辰巳はSS2で猛アタックするが、ベストは”しんで”関根ブーン。2番手に1.4秒差で健太郎ブーン、さらに1.4秒差で高田と続くが、かろうじてこの時点でTOPに立った辰巳。2位川本との差はコンマ5秒。さらに2.6秒差で古川。古川は「スイフトで舗装ばかり走っていたのでダートの走り方がわかんなくなってる」と言い訳しつつSS3をスタート。やっとインテグラの、ダートの、走り方を思い出したのか2

番手健太郎に1.7秒差でベスト。3番手には尻に火がついた辰巳。辰巳はTOP古川にコンマ8秒差に迫り、続くSS4を猛アタックした結果・・・左後タイヤがシャフトごと（もちろんローターも一緒）行方不明になり終了。行方不明になったタイヤは翌日の道路整備の際にも捜索したが見つからず。心にも財布にも暗い影を落とす悲しい出来事となってしまった。このSS4を制したのは古川。コンマ2秒差で健太郎、3番手には健太郎から2.2秒差で高田。SS4終了時点でTOPは高田、1.8秒差で古川、さらに3.1秒差で健太郎と続く。残り2本で本調子になった古川が連続ベスト。しかも2番手に6秒、9秒の差をつけ圧勝。2位には健太郎、3位には高田がコンスタントな走りで食い込む。4位には”しんで”関根がエンジンとミッションを一新した甲斐あって入賞、若者川本は好タイムをマークしつつもベテランの壁に阻まれ5位となった。貴利ブーンは昨年までのブーンと特性が違うようで走らせ方に苦心して6位、やっと復活みかんシビッ

クはドライバーが「歩行時に転びそうになって体をひねって」肋骨骨折（骨粗しょう症？）で痛くてハンドルが回せない！」と言い訳し7位、舗装スペシャリストカネビーは全くいいところなく9位だった。



FG-3クラス表彰 左から、4位関根康生 / 走出芽美、2位小西健太郎 / 藤島義孝、1位古川寛 / 和田善明、3位高田修 / 園田裕康、5位川本圭祐 / 大谷美紀夫、6位山口貴利 / 山田真知子



FG-2 クラスは昨年の覇者、杜氏川村ストーリーアが安定した走りでの1位独走。SS4を終わって2番手に30秒差で迎えたSS5とSS6でベストを五十嵐フィットに奪われるも順位変わらず優勝。2位は中西スイフト、3位は五十嵐フィットとなった。

久々の夫婦エントリーとなった縄田夫妻。「全く走り方がわかりません！修行します！」とはドライバー夫のコメント。

写真右：1位川村 / 中村  
写真左：FG-3クラス表彰 左から、4位縄田幸裕 / 縄田緑、2位中西昌人 / 福井林賢、3位五十嵐貴充 / 安田暢明

FG-1 クラスは完走すればメダル確定！の寂しいクラスとなった。松井ヴィッツと安藤スイフトのガンメタ師弟対決に日高黄スイフトがどう絡むか？な前評判でスタート。

SS1 トップは安藤、2.6秒差で松井。お互いのタイムを聞き、安堵しつつ「危ないから安全運転するよー」とけん制しあう師弟。コドラ同士は「とにかく完走させましょうね！」と謎の供託を結ぶ。黄スイフト日高は昨年のオールスターでリタイヤしたため、「とにかく完走したい！無理はしない！」とのこと。相手が師匠でも排気量差で負けるわけにいかない安藤は、SS3でスローパンクチャーし松井にコンマ6秒差で負けたものの、残り5本でベストを出し久々の優勝。上機嫌でルンルンでゴールしたが、家の事情で表彰式後の宴会に参加できなくなり「ラリーが終わった気がしない」と翌日になっても優勝宴会に参加できなかったことを悔やんでいた。2位には松井、3位は完走できて大満足の日高となった。



写真左：1位安藤 / 原野（SS写真なし）  
写真右：FG-1クラス表彰 左から、2位松井繁往 / 山本剛、1位安藤恭平 / 原野雅子、3位日高重貴 / 吉田賢吾（欠席）



総合優勝は、長江 / 漆戸組。美馬市長から特別賞が授与されました。

表彰式会場には、お料理、飲み物が用意されています。市長、市議会議員の皆様のお心遣いですべて無料！！

次戦てっぺんラリーは7月29日開催。真夏のとっぺんラリーには、熱中症対策もお忘れなく！郷土料理とともに楽しむ大宴会（表彰式）も楽しみに！たくさんの参加をお待ちしています。